

最初の転機は、2年後に訪れる。

1986

その種は小さくとも、生命力に満ちていた。

1986

- ◆沼津市大岡にて株式会社シード創業
- ◆株式会社アドバンステック設立
- 株式会社ゴトー焼津店オープニングプロモーション
- OS市政100周年イベント企画
- 化粧品メーカーI社教育マニュアル開発



▲川崎BE プロモーション

1987

- 富士ゼロックスD.M.C赤坂本社ビルリニューアル<電通>
- 丸三証券「MACS」VI・プロモーション
- 日本航空「JAL WORLD WIDE MARKETING RALLY '88」<電通>



▲日本航空民営化謝恩披露パーティ

1988

- ◆株式会社エクシード設立
- 川崎BEオープニングプロモーション<電通・アド電通>
- 日本航空民営化謝恩披露パーティ「NEW JAL レセプション」<電通>
- サッポロジョイプラザライオン・沼津SBS学苑設計・施工



▲サッポロジョイプラザライオン

1989

- 国際アーバンインフラテック'89テーマゾーン展示企画・制作
- 海外リゾートショッピング施設開発基本構想
- メガネのバリ・ミキ横浜本店リニューアル工事<電通>



▲本社風景(1988年頃)

1990

- 北千住WIZ(のちにルミネ)プロモーション('91年度まで)<電通>
- ユニー・アピタ プロモーション('94年度まで)
- AZALEA プロモーション



▲国際アーバンインフラテック'89テーマゾーン展示企画・制作

綺羅星のごとき巨大企業も多くがそうだったように、1986年10月のシードの誕生もごくささやかなものだった。沼津市のソフトウェア会社、日本エム・アイ・シー(株)のグループ会社として産声を上げたシードは、役員、社員総勢で10名に満たない規模で創業した。

走り始めたばかりでも企画集団としての意欲は十分。創業当初から膨大な数のイベント企画などと格闘しながら、1988年、さっそく最初の転機が訪れる。

この年は浜松メイワンのオープニングイベントからはじまる。

ここでの成功を踏みに、青田副社長が率いる制作チームは川崎BEのオープニングプロモーションをものにし、以降のSCプロモーション事業への先鞭をつける。一方青山副社長は「NEW JAL レセプション」を成功に導き、大規模イベントの総合プロデュース事業への扉を開いた。

そして西島社長は、サッポロビールへの粘り強いアプローチで、初の地方中小都市へのビアレストラン出店を決意させ、沼津駅前にサッポロジョイプラザライオンと沼津SBS学苑を誘致。後に数々の大型物件の獲得につながる商空間開発事

1991

- キミサワ御殿場246店設計・施工
- ディシラ教育マニュアル開発
- SEGA WORLD武生NATURELAND設計・施工



▲プランニングセンター

1992

- 港南台センターバースプロモーション('95年度まで)
- SEGA神楽坂店「GEOCE」設計・施工
- オーツービル竣工



▲集合写真

1993

- 桃成ビル竣工
- 燦々ぬまづ踊り制作・運営
- 資生堂新ブランドコンセプト開発



▲キミサワ御殿場246店

1994

- JR天王寺駅ビル「ステーションプラザてんのうじ」プロモーション('98年度まで)<JR西日本コミュニケーションズ>
- ハローズ熱海ビル竣工
- アユーラ教育マニュアル開発

▶港南台センターバースプロモーション

1995

- ◆シード創業10周年
- ◆三島本社竣工
- ならファミリープロモーション
- バリ・ミキ富士宮店リニューアル工事
- JR和歌山駅ビル「VIVO和歌山」プロモーション('01年度まで)<JR西日本コミュニケーションズ>



◀三島本社竣工

業の最初の一步を刻んだ。

いずれも「やったことがないこと」も「やれます」と応え、もがき苦しみながら手に入れた勝利であり、それぞれが各分野での成長の強固な礎となった。

SCプロモーション事業は、以降、北千住WIZ(のちにルミネ)、AZALEA、港南台センターバースへと続き、1994年度以降は関西でも展開されていく。また商空間開発は、1991年に最初の大型物件、キミサワ御殿場246店の設計・施工に結実。さらにセガ店舗開発では、1991年を皮切りに199

4年までに16店舗を手掛けることになる。

1988年に打ち立てた3つの柱となる事業分野を基軸に、化粧品ブランドの教育プログラム開発などを通じて企画力を鍛え続ける中、1995年には三島本社が完成。飛躍の準備が整う。そして、創業当初から紆余曲折ながらも進行してきたプロジェクトが、ようやく大輪の花を咲かせようとしていた。

地域のくらしを変える一大事業が結実

1996

地域社会と歩き始める。

1996

- SBSラジオ「土曜ワイドラジオEAST」番組制作(継続)
- ハックキミサワ富士厚原店竣工
- JR天王寺駅ビル「MiO」プロモーション('07年度まで)
＜JR西日本コミュニケーションズ＞



▲SBSラジオ「土曜ワイドラジオEAST」番組制作

1997

- サントムーン柿田川竣工・開業
- 静岡中央銀行TVCM企画・制作
- 第10回全国スポーツ・レクリエーション祭「スポレクおきなわ'97」実施＜電通テック＞



▲JR天王寺駅ビル「MiO」プロモーション

1998

- 回転寿司うおや亭三島店設計・施工
- 静岡新聞企画記事「風は東から」企画・制作(継続)
- 沖縄県サマーキャンペーン＜電通テック＞



▲サントムーン柿田川竣工・開業

1999

- ウェルディ長泉竣工・開業
- ルピア函南リニューアル竣工
- 伊豆新世紀創造祭回廊イベント実施(各地)



▲ウェルディ長泉竣工・開業

2000

- ◆三島本社ビル拡張工事
- 九州・沖縄サミット沖縄首脳会合「沖縄じょうほう館」展示制作・施工＜電通テック＞
- FIVE-J静岡伝馬町プラザ開業
- 静岡県東海道四〇〇年祭東部拠点事業「東海道大宿場まつり」実施



▶FIVE-J静岡伝馬町プラザ開業

三島に根を下ろして迎えた新しい10年は、ラジオEASTの放送開始とともにスタートする。広い視野と多彩なノウハウを備えた企画集団としてボーダーレスな活動を指向しつつも、地域社会にも目を向け始めた10年間を象徴する出来事だ。

そして、シードの発展史における最大のエポックともいえる1997年が訪れる。4月24日、サントムーン柿田川のオープンだ。今なお発展を続ける静岡県東部のにぎわいの核の誕生である。プロジェクトへの着手は創業時まで遡る。幾度となく

壁にぶつかりプラン変更を余儀なくされながらも、西島社長が粘り強くプロジェクトを牽引し、全社一丸となって持てるノウハウを結集させて、大輪の花を咲かせた。そしてシードは「複合商業施設の総合プロデュース」という独壇場を手に入れる。

1999年のウェルディ長泉、翌年の静岡FIVE-J、2002年の富士急百貨店、2004年の三島タワーズショップ、さらに2005年の富士吉田Q-STAと、SCの新設あるいは再生プロジェクトはコンスタントに続き、シードは卓越したSCプロ

2001

- ◆株式会社アイティ・イニシアティブ設立
- 日本ガス興業プロモーション('03年度まで)
- 伊東マリンタウンプロモーション('04年度まで)
- 第16回「海の祭典」あおもり実施＜電通東北＞

2002

- 富士急百貨店リニューアル竣工
- ムラサキスポーツ静岡店プロモーション(継続)
- 沖縄花のカーニバル「フラワーフェスタ2003」実施＜電通テック＞

2003

- ◆三島本社第2ビル開設
- トムス・エンタテインメント AGスクエア松本店設計・施工
- ファルマバレー構想・ファルマバレーセンターパンフレット
- 新宿タカシマヤ「海洋堂大博覧会」実施

2004

- ◆三島本社ビル連結工事
- ◆株式会社スポーツ・ウェルネス総合企画研究所設立
- 第17回全国健康福祉祭群馬大会「ねんりんピックぐんま」実施＜群馬テレビ・電通テック＞
- ネットヨタ静岡「NETS VOICE」企画・制作
- 三島本町タワーズショップ竣工

2005

- ◆シード創業20周年
- ◆三島本社第2ビル拡張工事
- 群馬県観光ポスター＜電通テック＞
- 「かかりつけ湯」企画・プロモーションツール・WEBサイト(広報運営支援継続)
- 富士吉田富士急ターミナルビルリニューアル「Q-STA」竣工

デュース企業としての地歩を固めていく。同時にまちのにぎわい再生を通じて、地域社会における評価も着実に高まっていった。

一方、営業企画部門では、電通グループとの協働による自治体大型イベントやキャンペーンへの取り組みが相次いだ。そしてこれらの仕事も、地域社会へとつながる。大きな契機となったのが伊豆新世紀創造祭であり、伊豆一円の市町村のイベントプロデュースにメンバーが奔走した。

2005

仲間を増やしながら、本社を拡張



▲伊東マリンタウンプロモーション



▲富士急百貨店リニューアル竣工



▲ファルマバレーセンターパンフレット



▲第17回全国健康福祉祭群馬大会「ねんりんピックぐんま」実施



▲富士吉田富士急ターミナルビルリニューアル「Q-STA」竣工



▲群馬県観光ポスター

さらに21世紀の幕開けには地元三島市で、静岡県東海道四〇〇年祭東部拠点事業を開催。現在も関係が深い自治体の多くが、この時期に関係が生まれた、あるいは強化された自治体である。この後、ファルマバレープロジェクトのサポートなどを通じて、自治体との関係性はより強まっていく。

着実な業務の拡大に併せて組織も設備も拡充していく。三島本社では2000年から断続的に拡張工事を続け、2005年、20周年の節目に現在の本社のカタチが整う。

2006

地域を代表する企業の
新事業展開を総合サポート

2006

- 静岡ガスエネリア事業開発支援・プロモーション(継続)
- 静岡ガスエネリア静岡ショールームリニューアル
- 我が国パン発祥の地「伊豆の国」パンまちづくり推進事業



▲静岡ガスエネリア事業開発支援・プロモーション

2007

- ◆トップトラスト株式会社設立
- 大和ハウス「フローラルアベニュー柿田川」分譲広告
- サントムーン柿田川リニューアル(2期開発)
- 矢崎総業大阪支店ショールーム設計・施工



▲サントムーン柿田川リニューアル(2期開発)

2008

- ◆株式会社キッズキッズ設立
- 矢崎総業永年勤続祝賀会実施(継続)
- サイクルフェスティバル伊豆2008実施
- サントムーンアネックスリニューアル(3期開発)



▲サントムーンアネックスリニューアル(3期開発)

2009

- イーラdeプロモーション(コンサルも併せて継続)
- 伊豆の国市・伊豆市国民文化祭事業実施
- 久喜駅前SCクッキープラザ1階生鮮館設計・施工



▲伊豆の国市・伊豆市国民文化祭事業実施

2010

- 静岡ガス エコライフスクエア「三島きよすみ」開発・分譲支援
- 三島信用金庫創立100周年記念式典実施

まるで巨大な生き物でもあるかのように、地域のにぎわいを増幅させながら、サントムーンの成長は続く。2007年には大規模増床となる2期開発を完了し、さらに翌年のアネックス棟のリニューアルによって、テナント面積5万㎡超、東部地域最大であることはもちろん、静岡県内屈指の巨大SCへと変貌を遂げている。

そして、このサントムーンを起点とする「複合商業施設の総合プロデュース」実績に、2011年、新たにペイドリーム清水が加

わる。また、これらの取り組みで実証してきたにぎわい再生の手腕に対する地域社会の要請は一層高まり、沼津駅前イーラdeの再生や継続的なコンサルティングに従事するほか、相談、問い合わせは今後も絶たない。

地域社会の要請といえば、自治体そのものとの関係性もより密になりつつある。ファルマバレープロジェクトの一環としての「かかりつけ湯」事業の推進のほか、東部地域のさまざまな自治体から多種多様な相談事が舞い込み続けている。創業時

2011

- ペイドリーム清水 竣工・開業
- ネットヨタ静岡プロモーションツール制作(継続)
- 静岡県「かかりつけ湯」魅力発信事業
- 伊豆半島ジオパーク構想プロモーションツール制作



▲ペイドリーム清水 竣工・開業

2012

- イズラシ沼津工場新築工事竣工
- トムス・エンタテインメント本社屋改修工事設計・施工
- 全優石トータルマーケティング戦略推進業務(継続)



▲伊豆半島ジオパーク構想プロモーションツール制作

2013

- ◆東京支社開設
- 静岡ガス本社ショールーム新設工事
- 三島市モパイルで健幸まち歩き事業
- 小田原ダイナシティ「ファッショントークショー&スペシャルライブ」実施



▲イズラシ沼津工場新築工事竣工

2014

- こもれび歯科新築工事
- 静岡県東京オリンピック2020 合宿誘致ツール制作<電通東日本>
- 2014清水町ゆうすいクリテリウム大会実施



▲静岡ガス本社ショールーム新設工事

2015

- ◆シード創業30周年



▲静岡県東京オリンピック2020 合宿誘致ツール制作

から貫かれる、相手の根本的なマーケティング課題を共有し、それに応えんとする、企画主導の課題解決の姿勢と、蓄えられてきた幅広いマーケティング領域におけるノウハウが、シードの個性となり、相談者を集め続ける。

もちろん相談者は民間企業にも広がる。静岡ガス、矢崎総業など、地域を代表する企業や隠れたグローバル企業との信頼関係は深化し続けている。そして東京支社の開設により、大江戸温泉物語、神田外語グループ、全国優良石材店の会な

ど、新たな全国区企業・団体が顧客に加わり続けている。企画集団としての自負に本物の力が備わり、直営部門やグループ企業との連携も活かせる今、卓越したカスタムマーケティングソリューションの担い手としての、次の10年が始まる。